

本物。品訪

鹿児島県 特産探

2010かごしまの新特産品コンクール
(社)鹿児島県特産品協会理事長賞

あじろ 網代文庫入れ

竹林面積が全国一位の鹿児島県では、古くから竹を利用した製品が作られてきました。

鹿児島産の竹を使用した「網代文庫入れ」の作者、湧水町にある大崩竹細工店の大崩 紀明さんにお話を伺いました。

美しい編み目とシックな色合いがすてきですね

竹細工に向くといわれる女竹を薄く加工し、互い違いにくぐらせる網代編みで編んでいます。網

代編みの技法は、熟練の技術が必要といわれていますが、数十種類ある編み方の中でも、さまざまな表情を見せる、この編み方が好きです。

編み終わってから一週間ほど乾燥させ、カビの発生を防ぎます。乾燥させたものに形が崩れないよ



以前から取り組んでいる茶道具の制作にも力を入れていきたいです。日本人独特の「わび・さび」は、竹と茶道具にも深く根付いていると思います。

竹は、湿気を嫌うため乾燥させるまでには若干手間がかかりますが、弾力性があり加工しやすいため、さまざまな用途に使用できます。また、日本の「和の文化」と昔から共存しており、大切に使い続けられれば世代を超えて使っていたりすることがあります。十分に手をかけて作られた竹製品は、100年〜200年経つ

竹製品の魅力は何ですか

形もしつかりしているので、本ほかに、硯や大切な手紙を入れたりといういろいろな用途に使っていただけると思います。

うに針金を入れ、細心の注意を払いながら、着物に使用する数種類の染料を組み合わせた染料液で煮ます。煮ることによって、美しい色合いのほかに、強度と防虫の効果が出ます。



でも十分使っていただけですよ。いつかは土に返るエコな素材ということも魅力の一つではないでしょうか。

今後の抱負をお聞かせください

大量生産できないものですが、竹の材質や「くせ」を見抜き丁寧に作り上げていくことで、竹の持つ、しなやかさや心地よい温もりを感じていただける作品を作りたいです。今まで培ってきた伝統技術を守りながら、新しい技法も取り入れてお客さまに満足していただけるような「粋」な作品を作っていきたいです。これからも、まだまだ勉強ですね。

プレゼントコーナー

天然の本すす竹(100年以上)で作られた
耳かきを4名様にプレゼント

応募締切 平成23年10月31日(月)

応募方法

ハガキ、FAXまたはメールに

①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

はがき宛先

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX

099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール

h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

*いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
*当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



大崩竹細工店
〒899-6104
始良郡湧水町川西798
電話 0995(75)3998



あじろ
網代文庫入れ
税込 26,250円

かごしま原木しいたけフェア

平成23年10月中旬

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は

鹿児島ブランドショップへ

[ホームページURL] <http://www.k-p-a.jp>

社団法人 鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館

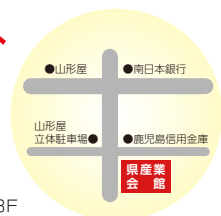
☎ 099-225-6120 FAX 099-223-0755

定休日 年末・年始 営業時間 午前9時～午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F

☎ 03-3506-9171 FAX 03-3506-9172

定休日 年末・年始 営業時間 午前10時～午後6時



“県産品総合展示販売場”「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)